

## 子宮鏡下手術を受けられる方へ

### 子宮鏡下手術とは・・・

産婦人科領域での内視鏡下手術には、腹腔鏡下手術と子宮鏡下手術があります（下の図を参照）。従来は検査・診断に用いられていましたが、現在では内視鏡下手術として急速に普及しております。子宮鏡下手術とは、子宮内腔にウロマチックという内視鏡手術専用に調整された液体を入れ子宮を膨らませることによりスペースを作り子宮の中に直接内視鏡（硬性鏡）を入れて、子宮の中に突出した粘膜下筋腫や子宮内膜ポリープなどを切除する方法です。基本的に子宮の内側に突出する病変（以下の子宮鏡下手術の適応疾患をご参照ください）を対象としております。麻酔方法は麻酔医師の判断で決定しますが、静脈麻酔あるいは腰椎麻酔などにより手術をおこないます。手術後の痛みもほとんどありません。入院期間の短縮と早期社会復帰が可能です。子宮鏡下手術後は不正出血や過多月経などの症状が劇的に改善することもあり、非常に有用な手術手法として国内外で高く評価されています。手術後多くの不妊症の方が妊娠に至っています。

### 子宮鏡下手術の適応疾患

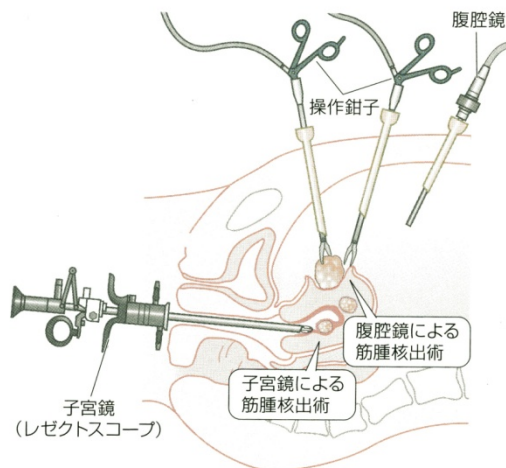
1. 子宮筋腫（主に子宮粘膜下筋腫）
2. 子宮内膜ポリープ
3. 子宮腔癒着症
4. 不妊症（子宮奇形など）・・・

子宮の内側に突出する病変が適応となります。

どちらも低侵襲性手術として高く評価されております。



### 腹腔鏡下手術と子宮鏡下手術



### 子宮鏡下手術のメリットとデメリット

#### メリット

1. おなかに傷ができない
2. 周辺臓器に影響が少ない  
(癒着による卵管閉塞や腸閉塞の心配がありません)
2. 術後の痛みが軽い
3. 入院期間が短い(早く退院できる)

#### デメリット

1. 術式の移行：予期しない高度な癒着や出血があった場合
2. 子宮鏡は視野が限られているため筋腫やポリープの大きさや個数によっては、数回に分けて手術を行う場合がある

### 入院期間、費用

入院期間は平均2～4日ぐらいです。ただし、術後の状況（出血、腹痛）によっては退院が延びることもあります。入院と手術はすべて健康保険の適用となります。手術の種類により費用は異なりますがおおよそ4～8万円です。

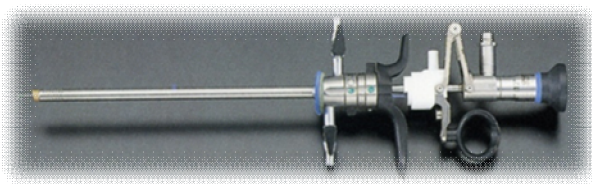
今回の手術について、不安なことやご質問がありましたらお尋ね下さい。

## 婦人科の治療に関するQ & A（子宮鏡手術について）

### Q 1 . 子宮鏡下手術で使用される内視鏡とはどういうものですか？

A 1

子宮鏡下手術で使用される内視鏡には硬性鏡という体内の像を複数回のリレーレンズ系を用いて伝送する挿入部が硬いタイプの内視鏡が使用されます。硬性鏡にはさまざまな電極（電気メスで切除するために使用する針金のようなもの）が装着できあらゆる症例に対応できるようになっております。



硬性鏡（ヒステロレゼクトスコープ）

安全に手術ができるように、たくさんの機能がついてるんだよ。



### Q 2 . 子宮鏡を使った手術にはどのようなものがあるのですか？

A 2

婦人科の手術の場合、子宮筋腫（主に子宮粘膜下筋腫）、子宮内膜ポリープ、子宮腔癒着症、不妊症、子宮奇形など子宮の内側に突出する病変が子宮鏡下手術の適応となります

### Q 3 . 子宮鏡を使った手術のメリットは何ですか？

A 3

子宮の内側から筋腫だけを削り出します。おなかも子宮も傷つけず、手術後の痛みはほとんどありません。入院期間が短く早い社会復帰が可能です。手術後の妊娠率の向上を認めます。

### Q 4 . 必ず子宮鏡下手術だけで手術をしてもらえますか？

A 4

手術は安全が第一です。何事にも絶対はありません。安全に手術を続けることができないような状況になった場合は、無理せず開腹術に切り替えます。